

ふるさと わがまち わが地域

豊臣家直轄領の大野村と大野城址 大野治長・道犬親子ゆかりの地

大宮町口大野区 (H26. 1)

事務所：京丹後市口大野889番地
 事務：区長、事務員（常勤）
 電話：64-2137 (FAX兼用)

口大野公民館



★地区概要

当地区は、京丹後市の南部、旧大宮町の中央西側に位置する面積3.28km²、人口2,385人、929世帯(H26. 1. 1現在)の集落です。

地区中心部には、大野神社を祀る城山公園や公民館、区事務所があり、これらを中心とした南北と東南方向に住宅街を長く連ね、駅前府道や市道の両側に旅館や小売商店のほか飲食店などを連ねた市街地を形成しています。



★歴史・産業

当地区の中心部である城山（現大野神社）には、かつて豊臣家直轄領として大野村を支配していた大野治長・道犬親子が大野城を築いていました。

大正14年の鉄道舞鶴峰山間の開通により丹後の機業地と京都西陣が直接通じ、産業経済上至便となったため、当地区も教育・文化も京都市内の影響を強く受けることとなり、大宮町の丹後縮緬の織物業や商業地の中心として栄えました。

農業はコシヒカリ水稻栽培のほか、国営大野団地で宇治茶の生産が進められています。

大野城址



城山の神社境内

大野城址

当地は、豊臣家の部将大野治長、父道犬ら、大野一族の出生地である。天正一七年（一五八九）豊臣秀吉は大野道犬の武功と、その妻大蔵局が淀君の乳母であった功に報い、相泉佐野と大野で石万石余を与え、当地に居城を築き、文禄元年征韓の役に陣出し功を挙げた。

元和元年大坂夏の陣において、道犬の子、治長、治房らは豊臣氏を擁護し、淀君母子を守り、家康との大軍と戦ったが、武運つたなく、勝すべからず、大宮町に殉じた。

大宮町

★文化・伝統

当地区は、昭和・高砂・明治・万歳・剣鉾の5つの町内により構成されており、各町内に地域の先人から受継がれる地域芸能（山車）を持っており、毎年10月上旬大野神社に神事として奉納されます。奉納神事には神輿、樂屋台（区）、剣鉾山太刀振り、万歳山太刀振り、明治山芸屋台、明治振興会太刀振り、高砂子ども神輿などがあります。



神輿



太刀振り



樂屋台

薬王山常徳寺（日蓮本宗）



美濃国（岐阜県）齊藤家の家臣小牧頼秀の長子義秀は、慶長元年（1596）に奥大野長福寺9世日悟師に仕え、出家得道して修行後10世を継承して日來と称されています。その後、日來上人が元和5年（1619）に、口大野の城の腰に庵室を築いたのが当山の開創です。寛永19年（1643）伽藍を建立し薬王山常徳寺となりました。



本堂



本尊 大曼荼羅



門 文政3年（1820）建立



梵鐘



273年前の建物
常徳寺三十番神堂

大野神社（元村社）



「岡野宮」が大野神社の本地です。寛文9年（1669）岡野宮を再建、明治5年（1872）に村の中央の由緒ある城山の現境内の地を開いて移し同6年村社に指定されました。例祭は、10月に神輿・太刀振りとこどもの薬打ちが、区内を練り歩いて盛大です。



本殿

祭神 保食神・大荒田別神
熊野十二神・野槌神



手水舎



御神木
樹名 椎 樹齢300年



神馬



綿縮緬始祖蒲田翁碑



丹後縮緬大会所跡碑

鬼子母神



常徳寺境内

荒神堂



荒神山森林公園山頂広場 清水の湧く大井戸があったことで名づけられました。

大井稻荷神社

祭神 豊川稻荷だ吉尼天



大野神社旧蹟



大野神社の本地（岡ノ宮）

旧口大野村役場



国の登録文化財（昭和4年建設）

北近畿タンゴ鉄道 丹後大宮駅



駅舎は、平安朝風の建物を模しています。

★口大野地域づくり計画書

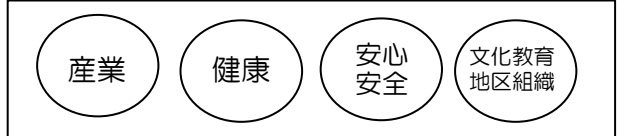
平成23年3月策

当地区は、平成22・23年度の2ヵ年で、地区住民要望に対し、そこに住む区民自ら考え、行動し、時に自ら負担することで、自分たちの地区は自分たちが守り創ることが重要であるとの考えを基に、地区役員と地域住民が一緒になって、地区現状を見つめることで課題や問題を整理し、地域づくり計画を策定し、現在はこの計画に基づき、地区要望が行われ地域づくりが進められています。

目標

- ①産業「地域資源を活かした地域づくり」
- ②健康「支え助け合う生き活きた地域づくり」
- ③安心安全「安心安全で快適な地域づくり」
- ④文化教育と組織「歴史・文化・教育と地区行政の充実した地域づくり」

★口大野地域づくりスローガン



区民と地区が一緒につくる 地域づくり計画書 役員で検討

みんな地域でつくる快適なまち 口大野！